

# Q.なぜ学校運営 参画なのか

第2回CS検討会(R6.3.7)

## コアな価値観(教育観)

- ・子どもの育ち、学びを支えるのは、保護者や学校ばかりでなく  
子どもの周りにはいる **多様な他者**
- ・多様な他者との交流・関わりが、  
**子どものウェルビーイングにつながる**

## 子どもを「よってたかって」育てる社会

### [ 教師の役割 ]

伝授者 (Teacher) から  
社会と子どもたちをつなげる  
“つなげ人” (Coordinator) へ

### [ 地域住民の役割 ]

子どもの育ちに責任をもって関わる  
子どもと大人が互恵的に学び合う

## そのための 装置としての コミュニティスクール

考え方の共有により不安感・負担感の解消へ / 3年はかかる見通しで気長に

学校長の  
ビジョン  
が必要

パラダイム  
シフト  
が必要

学校と  
地域資源を  
つなぐ

コーディネーター  
が必要

公民館  
が有効

## 学校側の不安感・負担感

- 学校を開くことは重要！

でも…地域の方々にどこまで入ってきてもらい、どこまで一緒に考えていくの？

学校は、地域の方々にWelcomeとしたいができない現状もあるのでは。

- 「とにかくやってみる」

でも…はじめの一步が踏み出せない。地域の方々に学校の支援に入ってもらっているだけではだめなのかな

## 地域側の不安感・負担感

- コーディネーターが重要！

でも…コーディネーターの担い手が地域にいない。

- 子どもの育ちに責任をもってかかわる

「学校のことは学校で」「私たちはお手伝い」

という根強いイメージ

地域学校協働活動だけじゃダメなの？



# 学校運営参画の充実を実現させる上で課題となっていることは何なのか

- 子ども
  - 学校（学校長・教頭）
  - 学校（教職員）
  - 地域（ボランティア）
  - 地域（コーディネーター）
-